

授業科目名	スクールソーシャルワーク論	科目コード	K1503L11
英文名	Theory of School Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	3年後期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	2単位

授業の概要	我が国の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性について学ぶとともに、スクールソーシャルワーカーの価値と倫理、業務と果たす役割、スクールソーシャルワークの支援の基盤となる理論と実際について、ミクロレベルからメゾ、マクロレベルにわたって理解する。 ・実務経験のある教員による授業			
-------	--	--	--	--

キーワード	SSW	不登校	いじめ	発達障害	貧困
-------	-----	-----	-----	------	----

到達目標	今日の学校教育現場が抱える課題とその実態について理解できる。(50%)
	これまでのスクールソーシャルワークの発展過程と実践モデルについて理解できる。(25%)
	スクールソーシャルワークの支援方法について理解できる。(25%)

**卒業要件・資格関連等**

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践	子どもの発達と相談支援

**キー・コンピテンシー（重視する能力）**

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

**教授方法（授業方法）**

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く学校の問題	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第2回	学校教育現場が抱える課題とその実態 児童生徒を取り巻く家庭・地域の問題 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第3回	学校教育現場が抱える課題とその実態 スクールソーシャルワークの導入意義 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第4回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 ソーシャルワークの視点と定義 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第5回	スクールソーシャルワークの価値・倫理 人権と社会正義 / 児童の権利条約 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第6回	スクールソーシャルワークの発展過程 アメリカのSSW発展史 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第7回	海外のスクールソーシャルワーカー 海外のスクールソーシャルワーカーの活動概要と役割 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分
第8回	スクールソーシャルワークの発展過程 日本のSSW発展史 *SSW検定の実施	
	【予習】 *SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】 授業内容理解のための再確認を行う	30分

第9回	スクールソーシャルワークの実践モデル エコロジカルアプローチ *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第10回	スクールソーシャルワークの実践モデル エンパワメント・ストレングスアプローチ *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第11回	スクールソーシャルワークの実践事例 ミクロレベル：個別・集団支援 *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第12回	スクールソーシャルワークの実践事例 メゾレベル：学校・家庭・地域支援 *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第13回	スクールソーシャルワークの実践事例 マクロレベル：教育行政支援 *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第14回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの方法について *SSW検定の実施	
	【予習】*SSW検定に向けた準備	30分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第15回	スクールソーシャルワーカーへのスーパービジョン スーパービジョンの体制について *SSW検定の実施	
	【予習】	
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	30分
第16回	これまでの振り返りとまとめ 期末試験	
	【予習】期末試験に向けての内容理解	180分
	【復習】授業内容理解のための再確認を行う	60分

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 3 は、毎回のSSW検定と期末試験(80%)で評価する。</p> <p>度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%)          なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。          人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p> <p style="text-align: right;">受講態</p>	
使用資料 <テキスト>	『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』	使用資料 <参考図書> 毎回の授業で、関係資料を配布する。 スクールソーシャルワーカーのしごと(中
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。          毎回講義の開始時に、振り返りのためのSSW検定を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>	
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>	
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>	